

崎津・小鳩統合園の建築基本設計について

崎津・小鳩統合園は、美保中学校区に設置する義務教育学校に併設し、一体的に建築することとしており、令和5年度から、基本設計業務を進めてまいりました。

このたび、義務教育学校整備事業に係る建築基本設計が完了間近となりましたので、崎津・小鳩統合園の基本設計の概要等について報告します。

1 敷地及び建物の概要

- (1) 敷地 所在地：米子市大崎3255番地1外 面積：45,963.88㎡
- (2) 建築面積（敷地内通路等を除く。） : 約 8,262㎡
 - ア 学校棟（交流棟を含む。） : 約 4,274㎡
 - イ こども園棟 : 約 1,572㎡
 - ウ 体育棟 : 約 2,216㎡
 - エ 部室棟 : 約 200㎡
- (3) 延床面積（敷地内通路等を除く。） : 約 13,967㎡
- (4) 建物高さ：約 14.90m
- (5) 構造：鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

2 配置計画について

- (1) 施設一体型の校舎配置とし、義務教育学校・認定こども園・交流棟を接続。
- (2) 可能な限り敷地内の歩車分離を行い、登下校の安全性を確保。
- (3) 日当たりや北西風等の自然環境の影響を考慮した施設配置。
- (4) 送迎時の利便性・安全性を考え、なかよし学級と認定こども園を隣接して配置。

3 こども園棟について

- (1) 全体的な配置
 - 1歳児から5歳児までの定員90名での受入れを想定しており、3歳以上児エリアと3歳未満児エリアに分け、年齢に応じて安全に安心して遊ぶことができる空間を確保
 - 3歳以上児のクラスについては、義務教育学校と連携・交流がしやすいよう、年齢の高い順に校舎側に配置。また、園庭は学校の様子を見ることができる位置に配置し、みんなの広場とも接続させ、ハード面からも幼保小連携をサポート
- (2) 保護者の利用しやすい配置
 - 保護者が送迎や相談時に利用しやすいよう、駐車場と直結するように玄関の庇を設置し、玄関近くには事務室、子育て支援室、相談室を配置
- (3) 安心・安全な保育環境
 - 保育室や遊戯室とは別に、3歳未満児も安心して遊ぶことができるプレイルーム（絵本コーナー）を設置。3歳未満児向けの園庭をメインの園庭とは別に設ける。プールは屋根付きとし、待機場所や更衣場所としての利用が可能な遊戯室の横に設置
- (4) 省エネと快適性を実現する空調設備
 - こども園棟は全館に空調を整備。快適な室内環境を実現しながら、省エネにより、建物の年間一次エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEB Ready」以上で整備する予定。

4 建築に係る今後の予定について

- (1) 建築実施設計について
 - 令和8年度から令和9年度にかけて実施予定
- (2) 建築工事について
 - 令和10年度から令和12年度にかけて実施予定